

笠間市社会福祉協議会

北川根支部だより

第129号

発行日
発行
編集
印刷平成28年 5 月 3 1 日
笠間市社協北川根支部
北川根支部広報委員会
(有)クリエイティブサンエイ

代議員会(平成28年4月23日 社会福祉会館)

若葉の緑が目にし
みる季節になりました。
た。会員の皆様方には
ご健勝にてお過ごし
のこととお喜び申し上げます。また、
当支部に日頃よりお力添えを賜り心か
ら感謝申し上げます。
去る四月二十三日の代議員会開催に
より平成二十八年度の活動が始まりま
した。
社会は日々発展変化する一方で、様々



「お役に立ちたい
という心で」
支部長 鈴木 裕

お知らせ

当面のスケジュール

- ◇女性部研修
5月24日(火)
日光 田母沢御用邸
日光植物園
- ◇合同茶話会
11月1日(火) 4日(金)
- ◇北川根ウォーキング
11月12日(土)
- ◇支部研修
平成29年1月25日(水)



女性部総会を、4月23日の支部代議員会終了後開かれました。

女性部総会を開催(4月23日)

な問題が押し寄せています。超少子、
高齢化問題がいよいよ表出し、構造す
ら立て直さねばならない経済状態とな
りました。孤独に苛まされる高齢者や
将来に希望を持たない若者の増加、ネッ
ト社会は便利な一方で情報の多さに戸
惑い、時にはいじめで傷つけられる子
どもや若者たちを作り出しています。
このような中で、地域の方々の福祉

平成27、28年度役員

【社協北川根支部】

支部長	鈴木 裕 (留任)
副支部長	水田 諭 (留任)
副支部長	鶴田 浩一 (留任)
副支部長	上野 昌子 (留任)
副支部長	小川 慎吾 (留任)
副支部長	水庭 ちさい (留任)
監事	飯村 和司 (留任)
監事	氏家 明夫 (留任)
監事	菅谷 亨 (新任)

【女性部】

支部長	上野 昌子 (留任)
副支部長	塩崎 祥江 (留任)
副支部長	倉坂 千代子 (留任)
副支部長	水庭 ちさい (留任)

に対するニーズも多様化しております。
他人や社会に対して無関心であっては
多くの問題に対して感性を働かせるこ
とはできません。『他人のことを本気
で考えられる人たちが』が交流しあう地
域を創りあげていく為に、今年度も行
政区の支部委員さんと共に私たち役員
が心を一つにして頑張っていきたいと
思っております。
皆様方のご協力、ご支援を宜しくお
願いたします。

(1) 収入の部 基金会計(声かけ運動)

項 目	27年度決算	28年度予算
1. 繰越金	143,975	168,975
2. 一般会計からの繰入	25,000	0
合 計	168,975	168,975

(2) 支出の部

項 目	27年度決算	28年度予算
	0	0
	0	0
合 計	0	0

(3) 収支決算

収入決算額	支出決算額	28年度繰越金
168,975	0	168,975

【議案第3号】
平成28年度事業計画
前年度の事業を中心に計画し、「仮称・北川根倶楽部」の組織作りをめざします。

【議案第4号】
平成28年度予算
前年度の執行状況を勘案し、別表の通り策定しました。

※市社協の4月人事異動で、これまで北川根支部を担当していた松田さんが退任し、会沢さん、吉成さんの体制になりました。

谷亨さんが選出されました。

【議案第1号】
平成27年度事業報告
今年一月と二月に、友部二中家庭科調理実習の支援を4回行いました。その他に、青色パトロール車での支部内巡回(毎月第二水曜日)、北川根ウォーク、月1回の配食サービス、合同茶話会、支部研修、女性部研修、北小・二中との連携強化事業の他に、各地区福祉事業等への助成、児童行事への助成、高齢者等への助成・慰問等を行いました。

【議案第2号】
平成27年度決算報告
(1) 収入額
1,138,356円
前年度比13・6%減
前年度繰越金が減少(14万9千円)し、一般会員数も若干減少(19)したため、会費還元金(会費会費の半分)が減少、収入額全体で前年度より13・6%減りました。

(2) 支出額
987,718円
前年度比11・9%減
地区行事への助成金を、1カ所3万円から2万円に減額、声かけ運動基金への繰入を5万円から2万5千円に減額するなどして、前年度より11・9%減りました。

平成28年4月23日

平成28年度代議員会概要

社協北川根支部長 鈴木 裕

笠間市友部社会福祉会館

一般会計

(1) 収入の部

項 目	27年度決算	28年度予算	附 記
1. 繰越金	195,421	150,638	年度当初の事業資金
2. 会費還元金	779,000	780,000	
3. 助成金	127,900	130,000	
広報助成金	77,900	80,000	
福祉コミュニティ	50,000	50,000	
4. 寄付金	0	0	
5. 雑収入	36,035	50,000	支部研修会参加費・預金利息
合 計	1,138,356	1,110,638	

(2) 支出の部

項 目	27年度決算	28年度予算	附 記
1. 総務委員会	769,612	760,000	
(1) 声かけ運動	25,000	0	基金会計へ繰入
(2) 地区行事助成	460,000	460,000	
① 各区行事	220,000	220,000	地区行事助成金(11地区)
② 区長会助成	30,000	30,000	北川根小学校区長会へ助成
③ 児童行事	120,000	120,000	北子運動会、北子遠球大会、北小運動会・収穫祭、二中運動会
④ 高齢者助成	90,000	90,000	高齢者クラブ助成金(4地区)、クラブゴルフ大会補助
(3) 研修	59,612	70,000	入館料、食事代、高速道路料金等
(4) 在宅福祉	225,000	225,000	配食サービス食材費、歳末見舞金
(5) その他	0	5,000	北川根ウォーク保険料等
2. 広報委員会	99,144	100,000	支部だより3回発行
3. 支部役員会等	14,635	15,000	事務消耗品・会議用お茶
4. 女性部活動費	80,000	80,000	茶話会・研修会開催経費等
5. 予備費	24,327	155,638	
合 計	987,718	1,110,638	

(3) 収支決算

収入決算額	支出決算額	28年度繰越金
1,138,356	987,718	150,638

計画、予算等の協議を行い、全議案を提案通り承認して11時に閉会しました。なお、役員は二年任期ですが、昨年の規約改正で新設された「顧問」に、前支部長の菅

平成28年度代議員会は、4月23日(土)午前10時から11時まで、笠間市友部社会福祉会館で開催されました。

■全議案を提案通り承認
鶴田副支部長の司会で始まり、上野副支部長が開会のことば、鈴木支部長が支部長あいさつを行いました。

協力体制の確立を

平成28年度
代議員会

市社協の小池和夫事務局次長、北川根小学校の廣原真校長、友部第二中学校の西野勝美校長からの来賓あいさつがありました(市社協友部支部からは、吉成さんが出席)。

その後、民生委員児童委員の赤津博さんを議長に選出、平成27年度事業報告、決算報告、平成28年度事業

友部二中

調理室にお邪魔して



久しぶりに友部二中から一年生の家庭科授業支援のお話しを受け、一月に二回、二月に二回、各六、七名程でお手伝いに行っていました。

内容は、大根を使ってお弁当の洗い、切り方を学ぶというものでした。手洗いや爪の点検の後、おいしいと元気な話し声の中、ふるふき大根、皮の金平、半月切りでみそ汁が作られていきます。

女性部員も各調理台に一人ずつ付き、自宅でお手伝いの様子等聞きながら、手元を見守りました。

「これはどの畑でとれた大根かな」と言った生徒さんが居りました。

調理の実習を通して、食材がどのように育てられ、流通され、はたは栄養の面まで考えることが出来たら素晴らしいと思います。

各年齢層の方々と交流を持つことは、社協活動の基本とするところですから、今年も、要請があれば続けたいと思います。

「ありがとうございます」と言われたと、お礼の言葉をもらい帰って来ました。(上野)



笠間市立北川根小学校長 廣原 真

朝、正門をくぐる子供たちから「おはようございます」の元気な挨拶がかえってきます。毎日、正門や交差点、横断歩道で登校指導をしてくださっている方々、安全なところまで一緒に歩いてくださる方々、北川根の子供たちには保護者の方だけでなく、地域の方々からたくさん愛情をいただきながら育っているのを感じます。

教育理念「明るく、元気な笑顔あふれる北川根小学校」が、学校・家庭・地域が三位一体となって支えられ、築かれていることに感謝いたします。

本当にありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

明るく元気な笑顔があふれる北川根小学校 チーム和イック&アイ(目)(二中の本年度キーワード)



笠間市立友部第二中学校長 西野 勝美

北川根支部の皆様には、登下校時の見守りやあいさつ運動、行事への参加、さらに、家庭科実習のお手伝いなど、日ごろから本校生徒へのご支援に心から感謝申し上げます。

今年度本校は、キーワード「チーム和イック&アイ(目)」を掲げました。

和を常に意識した協力し合う、ご協力をお願いいたします。

わが地域⑥

住吉地区

◎宍戸藩(宍戸地方)

①平安時代末期酒沼川一帯(茨城町、岩間町、友部町)に九条家を領家とする小鶴荘が成立していた。常陸国に土着した桓武平氏の本宗多氣氏、下妻氏が開発し撰閑家に寄進された。源頼朝の有力な御家人八田知家が建久4年(1193年)多氣、下妻氏を没落させ小鶴荘に進出し初代常陸国守護としてその地盤を小鶴に置き4男の家政が宍戸氏と称して天正年(1573)1592年)佐竹氏

に滅ぼされる迄この地域を支配した。②慶長7年(1602年)佐竹移封には秋田氏が秋田から入り正保2年(1645年)陸奥国田村郡三春へ移され宍戸城は廃城となった。③秋田氏の去ったあと幕府領となり天和2年(1682年)水戸藩初代藩主頼房の子頼雄が入り松平宍戸藩となった。④その後元治元年(1864年)水戸藩の天狗・諸生両派の紛争に巻き込まれ宍戸藩は領地没収となる。

◎住吉村(住吉地区)

古文書にある主な出来事は別表のとおり、①江戸期に作られた瀬戸井街道(水戸く下総瀬戸井)沿いに位置し元禄常陸国絵図に記載されている。②人口等は文政7年(1824年)に37戸、197人が住んでいた。約190年後の平成27年3月現在388世帯1027人と約5倍以上の人口になっている。人口(寺)教住寺のほか廃寺(善入庵、寿楽庵)があった。(神社)八雲神社、二所神社(旧熊野神社を合祀改称)があり敷地内に稲荷神社等末社が数社祀られている。(城・館)主に宍戸藩に属し宍戸氏、佐竹氏、秋田氏、幕府直轄、松平氏等の支配下にあった。湯崎城関連の館、堀の内等の地名が残っている。(その他の地名)往時を追想させる湯王現、女郎内、熊野下、山王台、天王山、馬場先等の地名も残っている。

※別表：文書として残っているものの中から抜粋

北川根支部研修・交流会報告

「埼玉古墳群と忍城跡を歩く」

友部公民館の歴史出前講座との共催で、1月26日に支部研修・交流会が実施されました。研修先は埼玉県行田市の埼玉古墳群と忍城で、参加者は28名でした。

埼玉古墳群には、5世紀後半から7世紀はじめまでにつくられた9基の大型古墳が群集しており、古代への思いが膨らむ光景でした。

忍城は古墳群のほど近くにあり、1590年の石田三成の水攻めでよく知られています。その後徳川の世となり、明治維新まで何人かの大名の居城となりましたが、現在は土塁のみがその面影を留めています(現在の御三階櫓は、1978年に再建)。

400年以上前の徳川家康による全国統一も、古墳群と比べれば最近のこととも思える一日でした。

一古墳群近くの忍城跡で

(鶴田)

第11回北川根地区交流 グラウンドゴルフ大会

スポーツ日和の天候にめぐまれた秋空の北川根多目的グラウンドで、第11回北川根地区交流グラウンドゴルフ大会が平成27年11月21日(土)行われました。

開会式では、主催者の長谷川誠旭悠遊クラブ会長・鈴木裕社協北川根支部長が挨拶をし、常井洋治県会議員の来賓挨拶がありました。

鈴木裕社協北川根支部長・来賓の常井洋治県会議員の始球式後、グループに分かれて個人競技の熱戦が展開されました。

参加者は、柏井達者会・随分附クラブ・睦団地・コロナの会・旭悠遊クラブのみなさん



北川根多目的グラウンドで

で、男子30名、女子16名でした。今までの練習の成果を一打一打に向けての視線は印象的でした。

(鈴木)

編集後記

東日本大震災から5年、熊本地震の余震がいまだに続く。専門家も「経験したことがない」という。被災者の方々は心からお見舞い申し上げます。(藤森)